

本校の実態

小規模校の特徴を生かし、きめ細やかな教育活動を行っている。落ち着いた中で授業が展開され、生徒の学習への意欲が育成されている。地域は学校に対して協力的である。

学校教育目標

・思考力に富む生徒を育てる
 ・実行力のある生徒を育てる
 ・情操豊かな生徒を育てる。
 を受け、「これからの社会に貢献する人間性豊かで品格のあるたくましい人」を育てる。

育てたい生徒像

・気持ちのよいあいさつをすることができる生徒
 ・確かな学力・豊かな心・健やかな体をもった実行力のある生徒
 ・自分の未来を切り拓くことのできる生徒

学校経営方針（学力向上にかかわる校長の方策 要点）

・各教科等の指導では、生徒が自ら学び自ら考えることのできる教育計画を立てていく。また、指導方法についての創意工夫や改善を図るとともに、個々の生徒の能力に即した指導方法の開発を図る。
 ・新学習指導要領による教育活動により、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育み、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指していく。
 ・体力・運動能力向上に関わる取組の充実を図る

各教科の指導の重点

・意欲的、自主的な学習態度の育成
 ・基礎的・基本的な学習の充実
 ・体験学習、情報教育の充実
 ・読書力、漢字力、計算力の充実

総合的な学習の時間の指導の重点

・自分の良さの発見
 ・自分を生かすことができる能力
 ・情報を収集、活用する能力
 ・まとめる、表現する力

進路指導の重点

・自己を理解する姿勢
 ・主体的な進路指導の実行
 ・自らの生き方を探求（職場体験）
 ・自己の多様な可能性を発見

本校における「確かな学力」

○学習指導要領の各内容が理解できること

・基礎的な言語能力を身に付けようとする力
 ・資料を読み取り表現する力
 ・数の概念、計算力、数学的推論、論理的思考力
 ・現象を科学的に考える力
 ・目的や場面に応じて話したり聞いたり伝える能力（コミュニケーション能力）
 ・思考力・判断力・表現力等をはぐむ学習指導の展開を行う。

○特に総合的な学習の時間では

・新たな課題を探求する力
 ・課題をまとめる力
 ・自分の考えを発表し、自己を表現できる力

○学ぶ意欲を育成する

・おおたの子どもポスターにある「学びの場」を意識し、教育活動に臨む。

道徳教育の指導の重点

・自他を尊重し互いに敬愛する態度
 ・社会連帯の精神、奉仕する心
 ・正しい判断に基づき行動、人権を大切に
 する姿勢

特別活動の指導の重点

・いじめのない豊かな心
 ・責任感と自立する態度
 ・自発的、自主的活動
 ・社会の一員であるという自覚

生活指導の重点

・各種調査等を活用し問題点に気付く
 ・問題行動を見逃さない姿勢
 ・相互理解と協調的な人間関係
 ・家庭、地域社会、関係諸機関との連携
 ・規範意識、安全意識の育成

本校の授業改善に向けた視点

各教科・領域、学校・学年行事等におけるカリキュラムマネジメント

指導内容・方法の工夫

・一人ひとりのコミュニケーション能力向上のためにミニホワイトボードを活用し、クラス・学年を越えて考え等共有する。
 ・読書学習司書の配置に伴い、読書力・探究心を養い、思考力・判断力・表現力を向上させる。
 ・3年間を見通した学習指導をする。
 ・補充教室を実施し、学習に対する個別指導を充実する。

教育課程編成上の工夫

・小中一貫による9年間を見通した教育活動を行う。
 ・安全指導、ヘルスプロモーション（健康増進教育）の充実を図る。
 ・新学習指導要領の内容を理解し、見方や考え方の育成にかかる教育課程編成に向け準備を進める。

校内研修・研究の工夫

・各教科等において、読解力の向上を目指した指導の工夫・改善の研究を行う。
 ・コンピュータ・タブレット端末や視聴覚機材等の教育機器を活用する。
 ・ICT環境に合わせた授業を提案する研究を実践する。
 ・学校、学年、学級の連携による一貫した指導体制を目指す。
 ・新学習指導要領の内容及び解説の理解を図る

評価の工夫

・生徒、保護者に明確な評価、評価規準の作成および検証（発達段階に応じた目標設定）の情報を提供する。
 ・新学習指導要領の考え方に基づく評価の工夫
 ・信頼される評価
 ・ICT活用の評価の工夫

家庭や地域社会との連携の工夫

・学校、学年通信等を活用し情報を計画的に提供する。
 ・授業公開、授業参観等を利用し、家庭や地域と連携した教育活動を連携する。
 ・学校支援地域本部（SSI）の協力を得て地域と連携した幅広い学習活動を行う。